

# 施工確保対策について

平成27年12月18日  
国土交通省 東北地方整備局

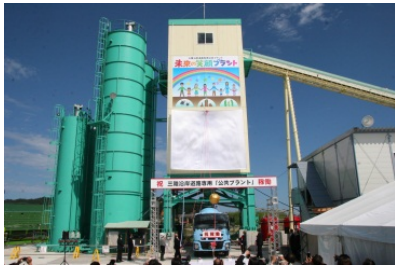
# 生コンクリート不足対策 三陸沿岸道路専用“公共生コンクリートプラント”の設置

(国土交通大臣からの第2回復興加速化会議時指示事項)

○国整備の生コンクリートプラント(宮古、釜石)については、  
**確実に来年(H26)9月から稼働させること。**

## ○宮古地区8月、釜石地区9月から稼働開始

(宮古地区)



(工事名)国道45号摂待道路工事(田老岩泉道路)  
 ※ 本工事のほか、三陸沿岸道路9トンネル工事に供給予定  
 ※ 全体約15万 $m^3$ の製造を予定  
 (年間6~8万 $m^3$ 規模のプラントを想定)  
 設置場所 : 宮古市田老字川向159  
**公共プラント稼働式 : 平成26年 8月31日**



(釜石地区)



(工事名)国道45号新鍬台トンネル工事(吉浜釜石道路)  
 ※ 本工事にのみ供給予定  
 ※ 全体約5万 $m^3$ の製造を予定  
 設置場所 : 釜石市唐丹町字桜峠62-1  
**公共プラント稼働式 : 平成26年 9月 3日**



稼働式イベント【8月26日】  
「地元中学生を対象とした生コン製造体験会」

# 技能労働者の確保に着目した施工確保対策

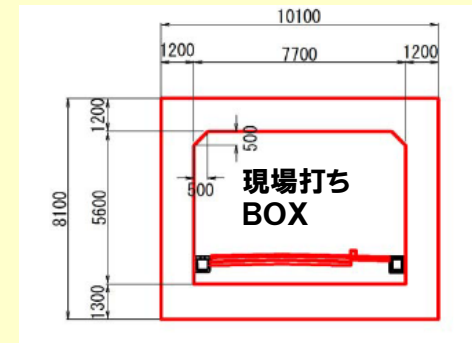
- 技能労働者の確保対策として、「設計労務単価の引き上げ」、「間接工事量の補正」の他、現場打ちコンクリート構造物のプレキャストコンクリート製品への転換の拡大などにより、技能労働者(鉄筋工・型枠工)の必要人数の低減を図る。

## 横断ボックスにおけるプレキャストコンクリート製品の施工状況

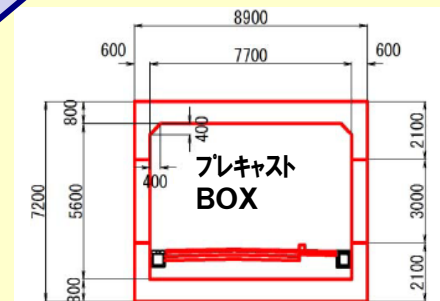
- 三陸沿岸道路の横断ボックスについては、特殊な構造のものを除いてプレキャストコンクリート製品への転換の拡大を図る。

◆ 平成26年度以降 → 約 200箇所

プレキャストBOXの搬入・据付状況



転換



通常、現場打ちコンクリートで施工する、内空断面が4m<sup>2</sup>程度以上の大型のBOXカルバートをプレキャストコンクリート製品に転換。